

第20回青少年育成北杜市民大会

日時 令和6年11月30日(土) 午後1時30分から (受付開始:午後1時)
 場所 明野総合会館(北杜市明野町上手5602)
 内容 あいさつ・声かけ運動標語表彰、中学生意見発表、合唱発表、基調講演 ほか
 ◆県大会で優秀な成績を収めた中学生による少年の主張発表、北杜市・明野少年少女合唱団による合唱、山梨県教育庁から「子どものネット・ゲーム依存対策と情報モラル教育推進に向けて『正しくこだわり・かしこく使う』子どもたちの育成のために」と題した講演を予定しております。
 ※ 一般参加をご希望の方は、11月20日(水)までに、事務局(生涯学習課)にお申し込みください。(参加無料・定員200名)

忍者参上! ~武川修行道場の巻~

日時 令和6年12月14日(土) 13:30~15:30(受付13:00~)
 場所 甲斐駒センターせせらぎ(北杜市武川町牧原1243)
 対象 市内小学生(全学年)
 定員 30名(先着順)
 申込み 11月18日(月)9:00から11月29日(金) 生涯学習課にて☎受付開始
 参加費 500円(保険料含む)
 内容 みんなで宝探しや謎解きなどの修行に挑戦!果たして、協力して達成することは出来るのか!?忍者のイメージを使ったコミュニケーションあそび活動プログラムです。皆さんの参加をお待ちしています!
 持ち物 風呂敷1枚、水筒、タオル、着替え



第19回青少年育成北杜市民大会

大会宣言

北杜の未来を担う青少年が、ふるさとに誇りを持ち、心身ともに健やかに成長していくことは、私たち、市民すべての願いです。
 多くの青少年は、夢や希望の実現に向け努力しながら、日々たくましく成長しています。
 昨今、AIやインターネット・SNS(ソーシャルネットワークサービス)等の利用に起因した闇バイト等の犯罪・被害の増加など、青少年を取り巻く社会環境は日々刻々と変化し、きわめて憂慮すべき状況になっています。
 また、学校をはじめとする活動の場での「いじめ」の発生も、地域の問題として注視していかなければなりません。
 青少年を健全に育成し、非行・被害を防止するために、家庭、学校、地域の人々が一体となって、夢や希望を育み安心安全に暮らすことができる地域づくりに、より一層力を入れて取り組むことが重要です。
 「地域の子どもは地域で守り育てる」の意識のもと、協力・連携・協働しながら、子ども一人ひとりの顔が見えるような地域の実現を目指していくことを、ここに宣言します。

令和5年11月25日

~ 事業へのお問い合わせ、青少年の悩み事・相談等がございましたらこちらへ ~

青少年育成北杜市民会議	生涯学習課	42-1373
明野支部・須玉支部	須玉公民館	42-1434
高根支部・大泉支部	高根公民館	46-1013
長坂支部・小淵沢支部	小淵沢公民館	42-1495
白州・武川地区民会議	武川公民館	20-3019

発行 青少年育成北杜市民会議
 (北杜市教育委員会生涯学習課)
 TEL 0551-42-1373
 FAX 0551-42-1124

第17号 令和6年度(前期) 青少年育成北杜市民会議だより

~地域の子どもは地域で守り育てる~

《青少年育成北杜市民会議について》

青少年育成北杜市民会議は、市内の8地域の支部と青少年団体が結集した団体で、青少年の健全育成のための様々な活動を行っている団体です。
 令和6年度の前半に行った、それぞれの活動の一部をご紹介します!

【青少年健全育成合同会議・研修会】 (青少年育成北杜市民会議 明野支部)

7月11日(木)、明野総合会館において、小中学校の代表や駐在所の警察官より課題や取組等を聞き、子ども達が夏休み中も安全に過ごせるよう話し合いました。
 会議後の研修会では、北杜市スクールソーシャルワーカーの金子真木先生と進藤あかね先生より、「子どもの伴奏者であるために大切にしたいこと」という演題で、子育ての悩みに対する支援についてお話を聴きました。講演の後半は、出席者と質疑応答を行い、具体的なご示唆をいただきました。



【子どもクラブ対抗縄跳大会】 (青少年育成北杜市民会議 高根支部主催 大泉支部共催)

8月18日(日)、高根西小学校校庭において、「第42回子どもクラブ対抗縄跳大会」を実施しました。熱中症対策として昨年よりスタート時間を1時間早めたり、講師を招聘し縄飛びの達人から学ぶ場を設定したり、伝統ある大会をさらに充実するようにと工夫をしました。団体の部では7チームが参加し、個人戦を含め110名の参加者がいました。異年齢の集団での切磋琢磨が見られたことをうれしく思いました。



【明野・須玉・白州夏休み交流体験教室】 (青少年育成北杜市民会議 須玉支部)

8月7日(水)、児童31名、ジュニアリーダー(JL)&シニアリーダー(SL)18名、青少年育成推進員4名、事務局4名で、夏休み交流体験教室を実施。須玉小体育館でJL&SLとレクをしたり、北杜市オオムラサキセンターを見学したりしました。午後は、サントリー天然水南アルプス白州工場を見学し、豊かな地下水がどのようにして製品になるのかを学びました。
 参加児童は、色々な人と交流を深め、北杜市のよさにも気づくことができた一日でした。



【親子草もちづくり教室】 (青少年育成北杜市民会議 大泉支部主催 高根支部共催)

6月22日(土)に、北杜市保健センター調理室において、「親子草もちづくり教室」を実施しました。募集人員親子十二組に対し、二十数組の応募がありました。講師の植松先生(久月堂ご主人)の指導と向井栄養士さんの協力により、とてもおいしい草もちを楽しくつくることができました。講師からは草もちをつくコツや包餡するコツを伝授していただきました。最後に出来立ての草もちと麦茶でお茶会をして楽しいひと時となりました。



【かけがえない命を自分で守る心と体づくり教室】
(青少年育成北杜市民会議 長坂支部)

8月1日(木)に長坂小学校体育館で、「かけがえない命を自分で守る心と体づくり教室」を開催しました。講師はリズムオブラブ主宰の渡辺光美先生と北杜警察署の皆さんです。子どもたちは命の尊さを改めて知るとともに、自己防犯意識を高めるための基礎体力のつけ方を楽しく学びました。支部役員さんも一緒になって汗を流しながら、北杜警察署員からの講話に真剣に耳を傾けていました。



【明野・須玉・白州夏休み交流体験教室】
(青少年育成北杜市民会議 白州支部)

明野地区と須玉地区で行っている夏休み交流体験教室に白州地区も加わり3地区の交流体験教室は3年目となりました。今年は8月7日(水)に開催し、白州地区の子どもたちが7名参加しました。当日は、青少年育成推進員さんのご協力も得ることができました。さらに、北杜市ジュニアリーダーとも共に過ごし、交流を深め楽しい一日を過ごしました。



【全体会議・研修会】
(青少年育成北杜市民会議 小淵沢支部)

人を思いやり命を尊ぶ心をもった青少年の育成を図るとともに、私たちにできることは何かを考える機会とするため、7月13日(土)に全体会議・研修会を開催しました。講師は、国境なき医師団日本の橋本絵美子氏です。国境なき医師団の成り立ちや現状、現地に派遣されている職員の映像等を見ながら、世界で起きている人道危機の現実を多くの高校生も参加して学ぶことができました。



【武川地区 夏休み理科工作教室】
(青少年育成北杜市民会議 武川支部)

甲斐駒センターせせらぎにおいて、夏休みの恒例行事理科工作教室が7月31日(水)に開催されました。講師は、元山梨県理科教育研究会会長の早川憲三先生でした。先生には、毎年、おもしろいアイデアで児童たちを喜ばせていただいています。今年は、CDホバークラフトと浮沈子を作成しました。当日は、青少年育成推進員さんも一緒に参加していただきました。2つが完成したときは大きな歓声があがりました。



【北杜JL(ジュニア・リーダー)活動 宿泊研修】
(北杜市子どもクラブ指導者連絡協議会)

宿泊研修は、新人中学生会員のスキルを高めるとともに、夏の中学生キャンプの事前準備をとして欠かせない研修会です。5月18日・19日の2日間、18人の会員と6人のシニアリーダーが参加してハケ岳少年自然の家で行いました。研修の内容は、野外レク・野外炊事・キャンプファイヤーなどの実習、野外活動についての講義など多彩。昨年度に引き続き、南アルプス市ジュニアリーダーとの交流会を組み入れました。2日間の共同活動の中で、双方の会員が親睦を深め資質を高めました。



【夏季中学生キャンプ】
(北杜市子どもクラブ指導者連絡協議会)

市子連の最大事業である夏季中学生キャンプを2泊3日の日程で開催しました。8月2日(金)に県立ハケ岳少年自然の家のキャンプ場に集まったのは、市内9中学校の1・2年生30名。5回の野外炊事、キャンプファイヤー、オリエンテーリングなど、日常では味わえない本格的なキャンプ生活を楽しみました。キャンプの指導は、北杜市ジュニアリーダー(高校生)が務めました。キャンプを通して、中学生には視野の広さなどが、ジュニアリーダーにとっては一層の指導力が養われました。そして忘れぬ思い出が残りました。



「あいさつ・声かけ」運動を推進しています

あいさつ・声かけ運動とは・・・

日常的な「あいさつ」や「声かけ」を子どもと大人も含めてみんなで行う運動のことをいい、市民運動として定着していくように進めています。この「あいさつ・声かけ運動」を進めていくことにより、人間関係が豊かな、明るく安全で住み良い地域社会(北杜市)づくりを目指しています。

「あいさつ」のいいこと・・・

- ・あいさつをしたり、されると、気持ちがよくなります。
- ・あいさつをする人同士の心の距離を縮め、親近感や連帯感を持つきっかけとなります。
- ・あいさつにより、地域にお住まいの方や自分の住む地域に深い愛着を抱くようになり、住み良い地域づくりが進んでいくことが期待されます。
- ・あいさつが交わされることにより、犯罪の起こりにくい地域づくりに繋がります。

～家庭・学校・地域が連携して、できることからはじめてみましょう！～

『はじめはできることから』

・子ども達にあったら、あいさつをしてみましょう！始めのうちは、返ってこないかもしれないけれど、いつかきっと素敵な笑顔とあいさつが…

『少し慣れたら』

・子ども達と話をしてみましょう！最初はぎこちない会話かもしれないけれど、いつかきっと、子どもの方から話しかけてくれるはず…

『そしてみんなで』

・地域の親として子ども達の成長を見守りましょう！子どもは私たち大人にとって大切な存在です。人間関係が希薄な現代社会だからこそ、地域の教育力を高めることが大切です！あいさつ・声かけのできる素敵なあなたを見て、子ども達は地域のことがもっと好きになることでしょう…

～北杜市青少年育成推進員～

各地区に、北杜市教育委員会より委嘱を受けた青少年育成推進員の方がいます。令和5～6年度は、77名の方が委嘱を受け、次の活動をしています。

- (1)市内における青少年問題の実情を把握し、青少年関係機関等と連携しながら青少年の健全育成
- (2)青少年のグループ活動の促進、有害環境の浄化、青少年の居場所作りの促進、週末活動・体験活動の促進、非行防止及びその他青少年健全育成活動の推進
- (3)青少年育成推進員は、地区ごとに代表を置いて各推進員を取りまとめるとともに、市民会議への参画(活動例)・各青少年育成地区民会議が行う研修、会議等への参加
 - ・日常生活での見守り、安全安心の確認等(安全パトロール など)
 - ・青少年に関わる事業や活動などへの協力(体験教室、ボランティア活動 など)

令和5～6年度「あいさつ・声かけ運動」標語
こだまする 地域の声かけ つながる心
青少年育成北杜市民会議

